

突破!

前年度比3.9%増の 新年度予算を

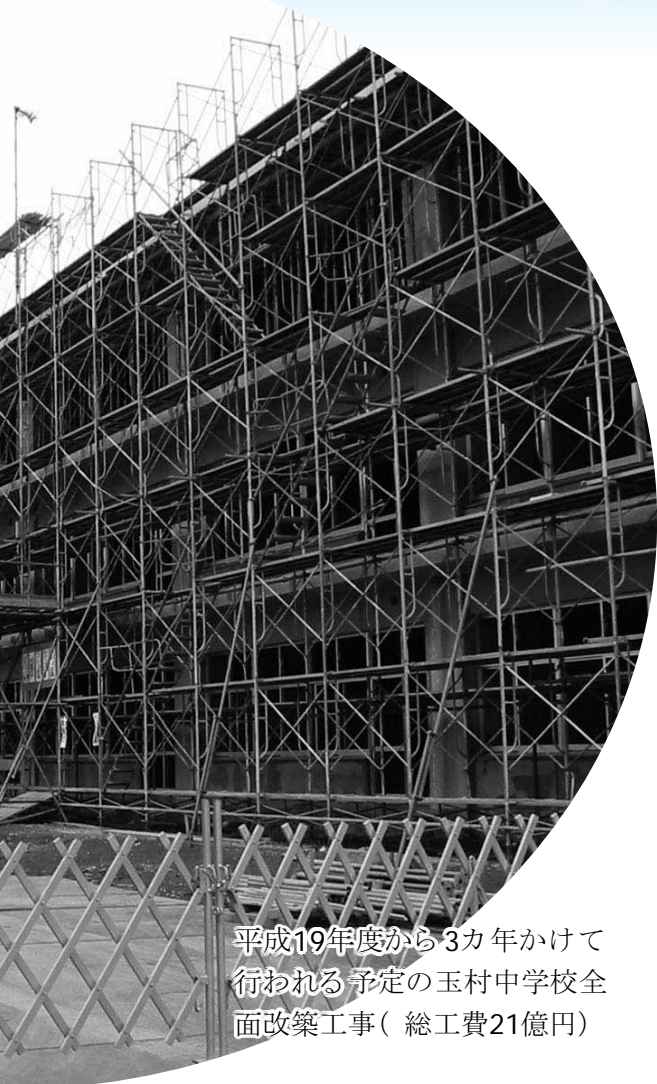


平成20年第1回定例会は、3月5日から18日までの会期で開催されました。

初日は、町長の施政方針につき、平成20年度各会計予算、平成19年度各会計補正予算、町条例の制定や一部改正など32議案が上程されました。

一般質問には9人が登壇し、町の姿勢を厳しくいただきました。

最終日には、追加提案された人事案件など3議案を可決し、14日間の会期を閉じました。



平成19年度から3カ年かけて行われる予定の玉村中学校全面改築工事（総工費21億円）

一般会計ほか8会計予算をすべて可決

平成20年度の各会計予算は、町長が掲げた

「健康・福祉」のまちづくり

「安心・安全」なまちづくり

「協働」のまちづくり

の3重点施策に基づき、計画されています。

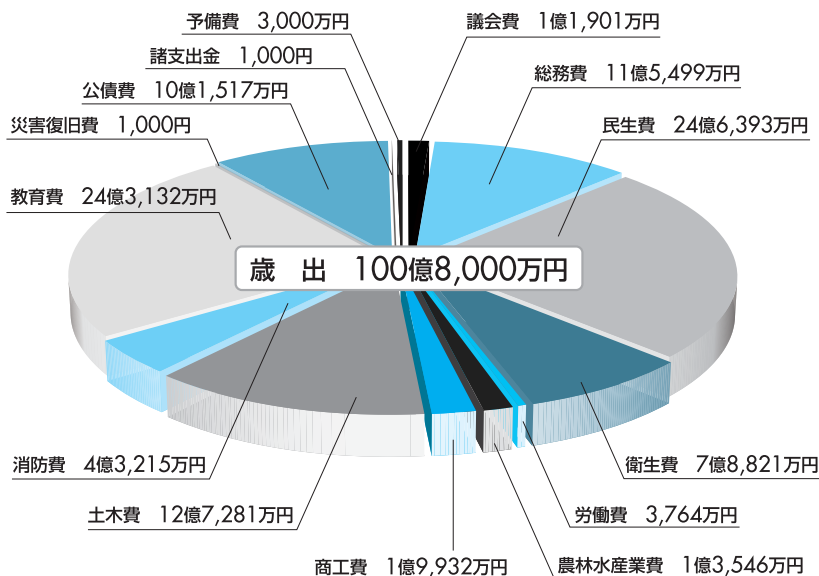
一般会計予算は、100億8000万円（前年度より3.9%増）。玉村中学校の校舎改築など、大規模な事業が予定されています。当初予算が100億円を超えるのは、平成13年度以来7年ぶりのことです。

全9会計予算は予算特別委員会で審査し、最終日の本会議ですべて可決しました。

平成20年度の主な事業

- ◇玉村中学校校舎建設事業費
10億2,100万円
- ◇土木公共事業費（道路建設など）
7億9,400万円
- ◇子どもの医療費無料期間を延長
（通院→小学校卒業まで、
入院→中学校卒業まで）
- ◇無料で受けられる妊婦検診を
3回から5回に拡大

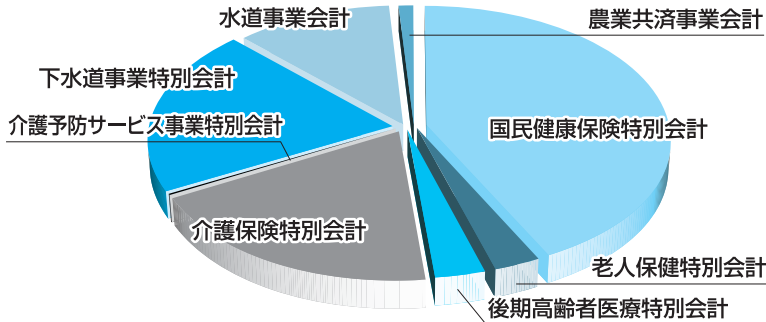
一般会計



平成20年度

一般会計予算“100億円

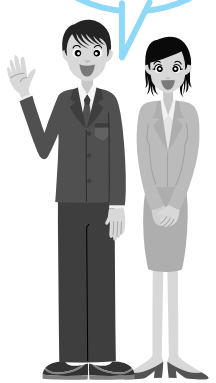
特別会計予算など



国民健康保険特別会計 29億 4,709万円 前年度比 2.2%減 町民1人当たり 7万7,661円	老人保健特別会計 1億 9,235万円 <small>(老人保健制度が廃止になったため、大きく減少)</small> 前年度比 89.8%減 町民1人当たり 5,069円	後期高齢者医療特別会計 2億 746万円 <small>※新たに始まる制度のため、今年度からの予算</small> 町民1人当たり 5,467円
介護保険特別会計 12億 9,610万円 前年度比 2.3%増 町民1人当たり 3万4,155円	介護予防サービス事業特別会計 1,031万円 前年度比 0.4%増 町民1人当たり 272円	下水道事業特別会計 13億 9,880万円 前年度比 20.2%増 町民1人当たり 3万6,861円
水道事業会計 7億 9,356万円 前年度比 4.9%減 町民1人当たり 2万9,122円	農業共済事業会計 7,459万円 前年度比 10.6%減 町民1人当たり 1,966円	※町民1人あたりの金額は、4月1日現在の総人口(37,948人)から算出しました。



予算特別委員会で、内容をしっかりチェックしました。4～7ページで詳しく紹介します。



一般会計の
 表決では、討論
 (議題に対して自分
 の賛否の意見表明
 すること)がありました。

反対 町長の給与アップ…これで町民が納得できるのか
 町田宗宏 議員

1. 町長の給与のアップは、いかなる理由があっても、町民の納得が得られない。
2. 予算案を作成した後に、第4次総合計画実施計画が作成されており、順序が本末転倒。これでは、将来を見据えた予算とならない。
3. 議会の意見が、予算案に適切に反映されていない。
4. 臨時・嘱託職員の任用問題や行財政改革に、ほとんど進展が見られない。よって、反対する。

賛成 税収アップ、子ども医療費対象拡大 町民のニーズにこたえた予算
 斉藤嘉和 議員

歳入については、法人税の大幅な増収など、町税全体2億1000万円の増加を見込んでいる。地方債残高も減る方向である。

歳出についても、子どもの医療費の対象年齢を引き上げるなど、多様化する町民のニーズに的確にこたえた、バランスの良い予算編成であると評価するものである。

よって、賛成する。